



DAIKEN株式会社
DAIKEN CORPORATION

OMOIYARIドア（DXデザイン品）扉本体

OMOIYARI DOOR（DX Design）Panel



DX
デザイン

算定対象：扉本体

算定対象外：ドア枠、ハンドル、ヒンジ、箱錠、その他付属品

登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2512-55-1	2025/12/23	2025/12/26	2030/12/22	グループ製品EPD
※更新された場合は初版公開日				
追加の準拠規格	EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。 EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。 https://ecoleaf-label.jp/epd/search			
ISO21930:2007				

Environmental Product Declaration for OMOIYARI DOOR (DX Design) Panel

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-1
PCR認定日	2025/3/31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 理事）
PCR有効期限	2030/3/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	南山 賢悟（ケイズビジネスファクトリー）		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☐ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☒ ISO21930:2007	☐ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければならない。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	DAIKEN株式会社 住機製品事業部 事業企画課
住所	富山県南砺市井波1-1
問い合わせ先	0763-82-5812
LCA算定実施者（所属）	仲村元樹（株式会社ゼロック）
事業者概要	事業内容： 1. 素材事業 木質資源や鉱物資源を有効活用し、機能性の高い素材を開発・提供 2. 建材事業 住宅から公共・商業施設に至るまで空間を形作る高機能な建材を開発・提供 3. エンジニアリング事業 建材の提供から施工まで空間づくりをトータルにサポート

●製品情報

製品名称		OMOIYARIドア（DXデザイン品）扉本体	
製品の型式		DXデザイン品：AM1〇〇DX-□□XX ※〇：ドア種類、□：サイズ、X：柄種類など	
製品仕様	製品機能	空間の仕切り、遮音・断熱・防火機能の提供。	
	製品質量	9.8kg/m2	換算係数 -
	製品の用途	室内外を仕切り、出入りを可能にしつつ、遮音・断熱・防火性能で空間の快適性と安全性を確保する建材。	
	技術性能	商品カタログの記載に準ずる。	
耐用年数	年数	22年	
	使用条件	公共商業建築用途および住宅用途	
	年数を設定した根拠	木造・合成樹脂造の建物（店舗用・住宅用のもの）の耐用年数と同等とし、耐久年数や保証期間を指すものではない。 出典：国税庁「主な減価償却資産の耐用年数表」	
製造サイト（製造拠点）		井波工場（富山県）・奈良工場	
製品概要		・OMOIYARIドア（DXデザイン品）扉本体 ・製品寸法例： 厚み：30.1mm 幅：412～1,364mm 長さ：1,785～2,380mm ・製品重量：約21～30kg	
製品ウェブサイト		https://www.daiken.jp/buildingmaterials/door/lineup/omoiyaridoor.html	

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
MDF	45.6%	4.0	kg
骨組み木材	28.3%	2.5	kg
段ボール芯材	4.5%	0.4	kg
オレフィンシート	1.8%	0.2	kg
接着剤	1.6%	0.1	kg
ABS樹脂	12.4%	1.1	kg
スチレン樹脂	4.9%	0.4	kg
アルミレール	0.9%	0.08	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
段ボール	92.3%	0.83	kg
PPフィルム	7.7%	0.07	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☐ 単一製品	☒ グループ製品	☐ 業界製品
	サイトタイプ	☐ 特定サイト	☒ 複数サイト	
	開示方法	☐ 特定値	☒ 加重平均値	☐ 代表値 ☐ 上限値
地理的範囲		グローバル		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		本EPDでは対象製品を生産している全ての生産サイトからデータ収集を行っているため、EPDにおける代表性は担保されている。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		対象製品の中には異なるサイズの異なる製品が存在するが、活動量は面積按分しており宣言単位（m2）あたりの排出量はサイズが変わっても等しくなる。 また、異なる厚みの製品1m2あたりの資材製造段階（A1～A3）のLCIA結果を確認し、平均値に対してすべての製品が90%～110%の間に収まることを確認した。		
複数製品EPDの説明		当該製品は製品サイズが異なる場合があるため、宣言単位（m2）あたりの生産量に基づく加重平均値を用いて算定した。		

> LCA関連情報

宣言単位	製品1m2あたり		
宣言単位当たりの質量 （質量への換算係数）	9.8kg		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-		
システム境界	☒ Cradle-to Gate	☐ Cradle-to-Gate with options	☐ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MilCA for EPD Ver3.2.0.0		
LCIデータベース	IDEAv3.1		
特性化モデル	気候変動 IPCC 2013 100年、その他 LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点	井波工場、奈良工場		
一次データ収集期間	2024年4月～2025年3月		
生物由来炭素の取り扱い	☒ 0/0アプローチ	☐ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス	☐ その他
	種類	-	
	購入日	-	
	発行元	-	

> 算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー ー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象 -：算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でアロケーションを検討・実施した。

当該製品を製造する生産サイトでは対象製品以外の異なる用途や特性を持つ多様な製品群を多数生産しているため、経済価値アロケーションを実施した後、さらに対象製品のデザイン種類ごとのインベントリを得るために物理量アロケーションを実施した。

> カットオフ

本算定ではカットオフは行っていない。

> システム境界

GPI及びPCRに基づき、対象のライフサイクル段階は資材製造段階（モジュール：【A1】原材料の調達、【A2】工場への輸送、【A3】生産）とした。時間的システム境界は100年である。

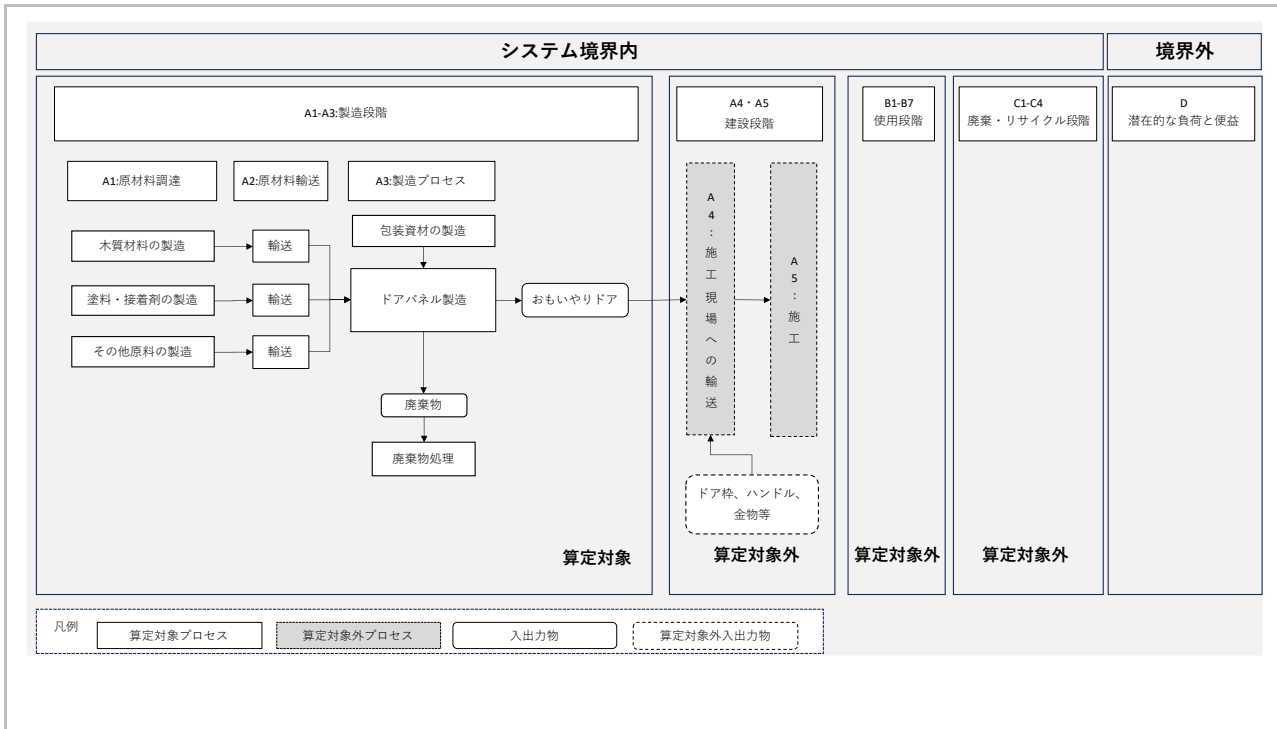
> シナリオ

モジュール	説明
A2、A3	一次データの収集が困難な原材料・廃棄物の輸送プロセスについては、輸送距離及び輸送手段・積載率について、PCRのB1. 輸送距離、B2. 輸送手段および積載率シナリオを基に設定した。

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2018年における日本の公共電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



Environmental Product Declaration for OMOIYARI DOOR (DX Design) Panel

●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造		D 境界外
気候変動	kg-CO ₂ eq	1.48E+01	2.57E+00	7.89E+00		-
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	3.41E-06	3.19E-11	1.51E-06		-
酸性化	kg-SO ₂ eq	1.88E-02	5.65E-03	1.13E-02		-
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	1.40E-02	2.14E-03	7.41E-03		-
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	3.88E-04	1.36E-05	1.25E-04		-
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	7.23E-03	1.27E-05	2.21E-03		-
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	3.07E-04	8.35E-06	5.54E-05		-
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	2.35E-01	3.46E-07	1.48E-02		-
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	2.31E+00	6.24E-06	2.93E-01		-
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	1.53E-03	2.61E-11	5.10E-05		-
土地利用(維持)	m ² /年	1.82E+01	1.40E-01	6.85E-02		-
土地利用(改変)	m ² /年	5.32E-03	2.79E-03	1.62E-03		-
資源消費	kg-Sbeq	1.07E-03	1.08E-05	3.08E-04		-

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造		D 境界外
非再生可能資源	kg	3.77E-01	2.39E-06	2.07E-01		-
非再生可能エネルギー	kg	7.31E+00	7.90E-01	2.90E+00		-
非再生可能エネルギー	MJ	3.22E+02	3.54E+01	1.22E+02		-
再生可能資源	kg	1.15E+01	6.09E-07	3.97E-01		-
再生可能エネルギー	MJ	1.86E+01	8.26E-04	3.33E+01		-
淡水の消費	m ³	1.68E+01	4.84E-05	1.79E-02		-
排出, CO ₂ (化石資源由来), 大気, 不特定	kg	1.37E+01	2.46E+00	7.45E+00		-
資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	4.55E+00	7.77E-01	9.33E-01		-
排出, 揮発性有機化合物, 大気, 不特定	kg	6.15E-07	1.89E-14	1.84E-08		-

> 廃棄物関連情報

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造		D 境界外
有害廃棄物	kg	0.00.E+00	0.00.E+00	2.00.E-02		-
無害廃棄物	kg	1.46E-01	2.07E-08	6.48E-02		-
一般廃棄物 埋立物	kg	2.86E-08	3.41E-17	2.84E-10		-
産業廃棄物 埋立物	kg	1.46E-01	2.07E-08	6.48E-02		-

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造		D 境界外
SuM	再利用可能な部品	kg	-	-	-	-
	リサイクル用材料	kg	-	-	-	-
	エネルギー回収用材料	kg	-	-	-	-
	廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率≧60%)	MJ	-	-	-	-
	廃棄物の焼却 (エネルギー回収効 率<60%)	廃棄物焼却処分量	kg	-	-	-
		回収エネルギー	MJ	-	-	-
	廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立によ り発生する埋立ガスか らのエネルギー回収)	廃棄物埋立処分量	kg	-	-	-
		回収エネルギー	MJ	-	-	-

> LCA算定結果に関する説明

本算定では、扉本体を算定対象とした。ドア枠、ハンドル、ヒンジ、箱錠、その他付属品については算定対象に含めていない。一部原材料の投入量は、材料構成質量を歩留まりで割り戻して推計しており、実投入量と差が生じる可能性がある。なお、歩留まりは製造実績に基づく。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

メンテナンス方法：汚れが著しい場合は、水でうすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、乾拭きを行う。

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照

建材および建設製品からの危険物質の放出

-

●用語の定義

-

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products